

## 活動報告（1月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：直進アシスト機能付きトラクター実演会を開催

日時：令和5年1月31日（火）

場所：静岡県浜松市



トラクター実演会の様子

1月31日（火）、浜松市浜北区新原にて、JAとぴあ浜松は直進アシスト機能付きトラクターによるキャベツ畝立ての実演会を開催しました。昨年、8月に開催したキセキ、クボタの実演会に続き、今回はヤンマーのトラクターによる実演会でした。

当日はヤンマーの社員からトラクターの説明を伺った後、キャベツ農家、JA職員がトラクターに試乗し、実際に畝立てを行いました。

今回実演会を開催した圃場は狭く変形のため、旋回をせず、畑奥には後進で入ってから前進して畝を立てました。後進で畝立て開始時の位置決めを行うのは、熟練者でも難しく神経を使う作業です。

ヤンマーのアシスト機能は後進でも自動で畝立てを開始できるため、その点、試乗した生産者からの評価は高かったです。

実演会に使用した直進アシスト機能付きトラクターは33馬力で、アシスト機能の付いてない同タイプの機種との価格差は約50万円でした。

トラクターに試乗した生産者に行ったアンケート結果では、8割の人が「購入したい」と回答しました。

引き続き、西部農林事務所はスマート農業の普及を推進し、キャベツ産地の強化を支援していきます。